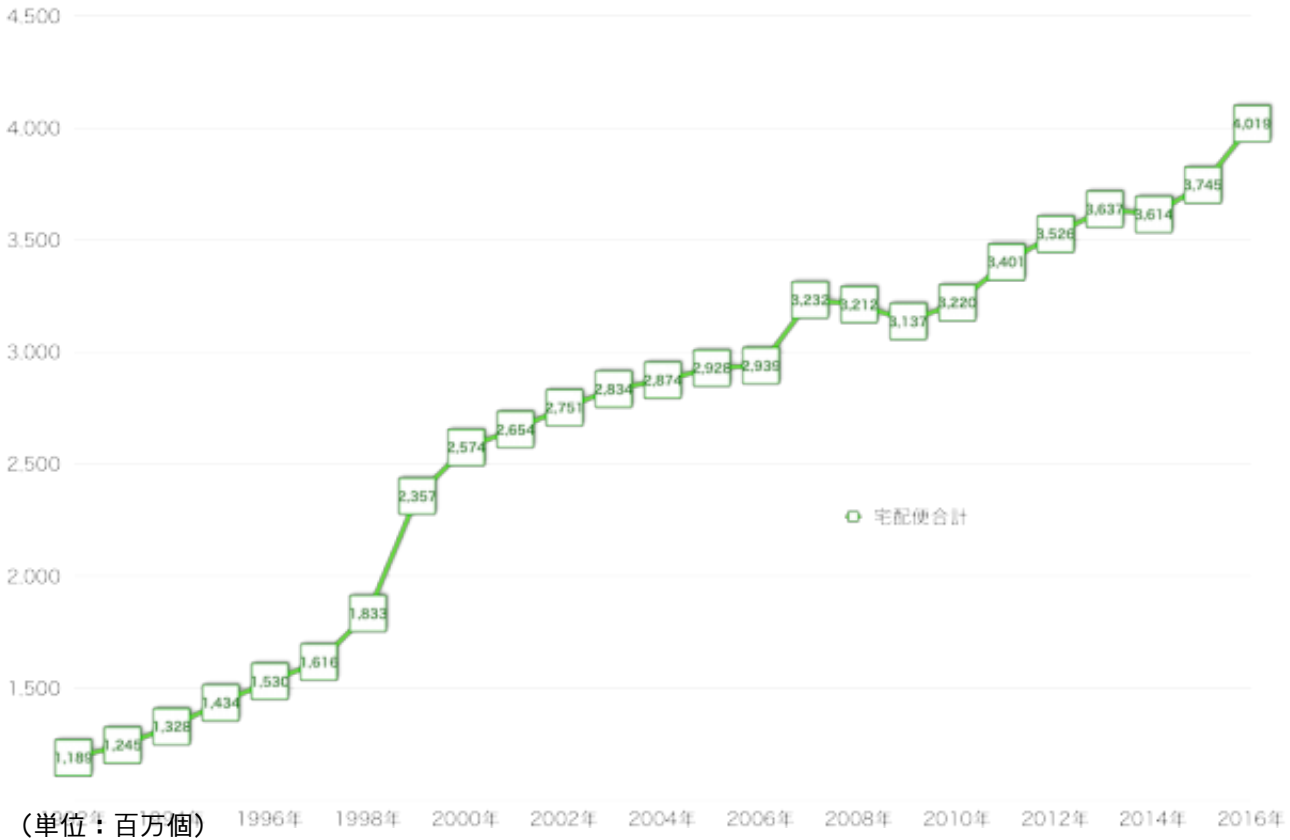


宅配便個数が初めて年40億個突破、国交省調べ

Edited By LogisticsToday On 2017/07/28

宅配便取扱個数の推移（トラック+航空等利用運送、国交省調べ）



国土交通省が28日公表した宅配便取扱実績によると、2016年度は15年度より2億7400万個（7.3%）増え、トラック・航空便利用合わせて40億1900万個となり、初めて40億個の大台を突破した。

この統計では16年10月から日本郵便が取り扱う「ゆうパケット」を宅配便取扱個数に含めて集計しており、ゆうパケットを除いた16年度の個数は39億791万個。このうち、宅配便（トラック）の取扱個数は38億6709万個となる。

トラックによる宅配便のブランド別個数は、宅急便（ヤマト運輸）が17億3126万3000個から7.9%増えて18億6756万3000個となり、シェアも前年度の48.3%から1.6ポイント拡大して46.9と、首位のポジションを固めた。

2位の飛脚宅配便（佐川急便）は12億1821万5000個で1.7%増、シェアは0.9P落とし、30.6%となった。3位のゆうパック（日本郵便）は6億3242万1000個で、前年度からの伸び率は上位2社を大きく上回る23.3%。シェアは13.5%から15.9%へと2.4P上昇した。

4位はカンガルー便（西濃運輸ほか19社）の1億2955万8000個で前年度から2.9%減少し、シェアも0.1P落として3.3

%、5位はフクツー宅配便（福山通運ほか21社）の1億2229万5000個で1.5%増、シェアは0.1Pマイナスの3.1%となった。7位以下（対象21便）の合計は802万7000個で、21便の合計は37億446万8000個。

メール便はトップがゆうメール（日本郵便）の35億6285万1000冊（0.7%増）でシェアは67.4%と群を抜く。2位以下はクロネコDM便（ヤマト運輸）の15億4216万6000冊（0.4%増、シェア29.2%）、ポストウェイメール便（ポストウェイ）9490万4000冊（6.8%増、1.8%）、中越メール便（中越運送）4555万5000冊（7%減、0.9%）、飛脚メール便（佐川急便）4088万9000冊（12.4%減、0.8%）、カンガルーメール便（西濃運輸）153万9000冊（4.2%減、0.03%）、フクツーメール便（福山通運）142万9000冊（6.2%減、0.03%）——と続いている。

メール便市場では、取り扱いを増やしているところも伸びが小さく、飛脚メール便を扱う佐川急便は12.4%も取り扱いを減らしており、3位につけているポストウェイが前年度比6.8%と順調に増やしているのが目立つ。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/296122>

Copyright © 2017 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.